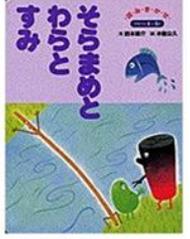


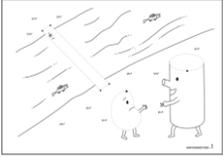
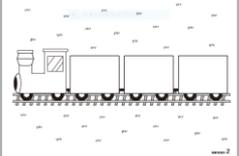
# 3歳児クラス 9月 第1回 「そらまめとわらとすみ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「みんなお豆好き？先生お豆大好きなんだ」と豆の写真提示「みんなが知ってる豆あるかな？」と豆の種類に興味を持たせながら簡単に名前、豆の特徴（形の特徴や食べ方）確認。最後にそら豆を確認。「そら豆ってお腹に線があるでしょう。なんでだろう？今日はそんなお話を読んでみるね」と絵本を読み始める。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>豆の写真5種</li> </ul>	保育士の役割	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①昔と今の道具の違いに触れながら読み進める。</li> <li>②ジャンケンで渡る順番を決める場面では、子ども達と一緒に「ジャンケンポン」と掛け声をかけながら盛り上げる。</li> <li>③最後に「そら豆に笑われた、わらとすみはどんな気持ちだったかな？」と問い掛け、「お友達の失敗を笑うことは良くない事」というお話のメッセージが伝わるように読み終える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本を持って登場</li> <li>子どもと一緒にストーリーや会話を楽しむ</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	書く	力強い線で点線をなぞることができる	
設問	点線をなぞって「そらまめ」「わら」「すみ」を描きましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「人の失敗を笑っちゃいけないね」</li> <li>保：「先生！そら豆さんからお手紙届いています」とプリントの入った封筒提示。</li> <li>講：「なにになに？『助けてください』だって」とプリント提示。</li> <li>保：プリント配布。</li> <li>講：子ども達と一緒にプリントの絵を見ながらお話の場面を思い出し「3人とも消えちゃいそう。助けてあげなきゃね、どうしたら良い？」子ども達の意見を聞きながら「クレヨンを使って助けてあげよう！」と見本を見せる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①クレヨンの準備、握り方確認 ②線の描き始めと終わりの場所（点から点）の確認 ③直線、曲線それぞれの描き方のポイント指導</li> <li>※特に、力強い実線を描く見本を見せる。</li> </ul> </li> <li>「みんなも助けてあげよう」と意欲を引き出してプリント配布。</li> <li>子：見本同様に力強く点線をなぞっていく。点線をつないだ子は色を塗る。</li> <li>講：完成したプリントを全員で見せ合う。「消えそうだった3人が見えて良かったね。強い線が描けたね」と称賛。プリントを1枚めぐりく活動②へ進む。</li> </ul>		教材 P 1 ★クレヨン  保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリントの入った封筒提示</li> <li>プリント配布</li> <li>クレヨンの握り方、実線の描き方、必要に応じて指導</li> <li>称賛</li> <li>プリントめぐり補助</li> </ul>
活動②	ことば	しりとりを理解してカードを貼ることができる。	
設問	お話に出て来た「そらまめ」を選んで、しりとり列車を完成させましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：プリントを1枚めぐり「あら？今度は列車？何かな？」(プリントの裏に見えない手紙があるかの様に)「なにになに？『しりとり列車を完成させてください』だって」とプリント提示。</li> <li>講：「『しりとり』って知ってる？」プリントに取り組み前に子ども又は保育士と「りんご→ごりら→次は？」といった様に「しりとり遊び」を展開させる。(このとき「ルール」の理解と文字への興味のため、実際にボードなどに文字を書いて伝えるのも、理解を深めるのに良い。)「こんなカードが一緒に入った」としりとりカード2種(めがね・ねこ)を提示。間違え行動を入れながら「めがね」→「ねこ」と繋がることを確認。「でも2枚だけでは列車は完成しないね」</li> <li>保：「先生！こんなカードも届きましたよ」とボードにダミーカードを含む3種の豆カードを見やすく貼って提示。</li> <li>講：「色々な豆があるね…(再びボードの裏の見えない手紙を読むように)『この中からそら豆を見つけると列車は完成するよ！』だって」と3種の豆を子ど</li> </ul>		教材 P 2 P 2用カード3種 (弱両面テープ付き) ※「めがね」「ねこ」2種のカードはセットにして皿に入れて準備  P 2用ダミーカード2種 P 2提示用セット (プリント・カード3種弱両面テープ付き) 皿(テープゴミ用)

<p>も達と確認。「そら豆はどんな形だった？」と、特徴を思い出させて1枚を選び、最初の2枚のカードを加えて再度しりとりを繋げ「しりとり列車」に貼り、完成させる。(シールのゴミは皿の中)</p> <p>※シアター導入で使った「豆の写真5種」を使って確認しても良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保:「みんなも完成させてみようか?」と意欲を引き出し豆カード提示。</li> <li>講保:トレーに3種のカードを並べて「そら豆」が取れたら、他の2枚のカードも渡していく。</li> <li>子:3種のカードがしりとりで繋がる様にプリントに貼っていく。</li> </ul> <p>※「しりとり」のルールを理解に至っていない子も多いと思います。カードの名称を声に出して確認させていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講:全員で完成した列車のカードの名称を声に出して確認。「これで列車も走るね」と称賛し終了する。(できれば最後にリズムに合わせて列車を机の上で動かし、達成感を持って終わらせる)</li> </ul> <p>※「しりとり遊び」は日頃のちょっとした待ち時間でもできる遊びです。「楽習タイム」でも紹介しているようにまずは「おしりのおと(もじ)」を理解させると分かりやすいでしょう。「ことば遊び」は積極的に取り入れていきましょう。</p>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3種の豆カード提示</li> <li>「そらまめ」を選ばせ配布</li> <li>理解できない子のフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>
---	---

<p>数チャレ</p>	<p>数</p>	<p>「合わせていくつ?」を理解して「4個」の数の操作に答えることができる。</p>	<p>教材</p>
<p>設問</p>	<p>こっちとこっち 合わせていくつ? (4個の操作)</p>		<p>おはじき 皿</p>
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「4個」のおはじきを2枚の皿(又は左右の掌)に1:3・2:2など分けて準備。2枚の皿を見せ「こっちとこっち 合わせていくつ?」と聞いてみる。個々に左右の数を変えて行う。</li> <li>すぐに答えられない子には「数えてみよう」と一緒に数え、「いくつあった?」と確認する。</li> <li>「合わせていくつ?」の意味を知ることがまずはポイントです。</li> </ul>		<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2枚の皿を提示</li> <li>「合わせていくつ?」と設問。必要に応じて一緒に数える</li> </ul>

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「友だちの失敗を笑うことが何故いけないのか」を感じ取らせるように読んだか
活動①描く	クレヨンの持ち方、筆圧の指導を行ったか
活動②ことば	子ども達がいりとりをルールを理解出来るように楽しく指導出来たか
数チャレ	「合わせていくつ」の意味を理解出来るように指導したか

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・ことば \*\*\*

**おしりのおと見つけ**

<遊び方>  
 ※「しりとり遊び」に繋がることば遊びのひとつ。  
 ①まずは具体物やイラストを見せて最後につくおと(文字)をクイズ形式で答えさせ、確認してみましょう。  
 ②①が理解出来たら「最後に(あ)つくものは?→(ま)」のように最後のおと(文字)を言って考えさせてみましょう。



理解できない子には、文字で書きながら見せると文字への興味・理解にも繋がりますよ

今月のえかきリズム

\*\*\* ライオン \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

